

若松エリア

7 太夫桜



いつき太夫という芸妓の伝説が残る桜の木です。飯盛山の参道脇にあり、急斜面をもともせず生育する、樹齢約300年、樹高約13m、枝張約17mのエドヒガンです。一箕町八幡。

写真：会津若松市史

6 山モミジ



ヘンリー・スネル邸の跡に立つ落葉高木で、樹高約16m、根元から1.5mのあたりで6本に分かれている、会津地方では珍しい古木です。秋の紅葉時には大変美しい姿となります。材木町二丁目。



8 建福寺境内のシダレザクラ



写真：会津若松市史

会津藩初代藩主保科正之ゆかりの寺の境内にあるシダレザクラです。樹高約13m、根元から2.2mのあたりで双幹となります。枝ぶりや花の色合いが大変美しく、満開時の美しさは格別です。建福寺前。



9 小出の樅の木



古来より、地元の人々に大切にされてきました。以前は呪いの釘の跡などが見られたと伝えられています。雷に打たれてもなお、その生命を保ち、力強く存在しています。北会津町蟹川。



10 赤井の大イチョウ



推定樹齢600余年の古木で、樹高約29mの巨木です。下枝には数多くの巨大な乳房状のコブが垂れ下がり、地元では『オッパイイチョウ』と呼ばれ親しまれています。湊町赤井。



11 芦ノ牧のイチイ



推定樹齢500年、幹周約2.7m、樹高約15mの常緑針葉樹です。上部で傘状に枝分かれた優れた樹形です。周辺環境の改善などにより、樹勢も良い状態となっています。大戸町芦ノ牧。